



## 石巻港復興だより第14号

(石巻港湾ひばりの通信37号)

— 港湾は人の心も結んでいます —

### 石巻港の復興は市民とともに

#### ■今年も『にっぽん丸』が寄港しました。

船内で提供される料理の豪華さから「美味なる船」との愛称を持つ大型客船『にっぽん丸』が、平成27年5月15日（金）に石巻港（大手埠頭）に入港しました。天候に恵まれた当日は、入港セレモニーとして大漁旗によるお出迎えや消防音楽隊による演奏歓迎式典が行われました。接岸中は、観光PRコーナーや地元食材の無料提供ブースが設けられ、ホタテの炭火焼などに長蛇の列ができました。石巻市のイメージキャラクター「いしぴょん」を始めとした地元の人気ゆるきゃらも登場し、会場を大いに盛り上げました。出航セレモニーでは、『にっぽん丸』は紙テープが舞う中、夕日を浴び颯爽と横浜に向けて出航しました。



#### ■荒天にもかかわらず多くの方々にお越し頂きました。

平成27年5月10日（日）第14回港湾感謝祭&ウェルカムフェスタとして『コスタ・ビクトリア』が石巻港（雲雀野中央ふ頭）の寄港を予定しておりましたが荒天のため、残念ながら入港できませんでした。あいにくの天気の中、多くの方に足を運んでいただきました。



## 「宮城防災の日」に避難訓練・総合防災訓練を実施

宮城県沖地震から37年目を迎えた平成27年6月12日（金）に、総合防災訓練が取り行われました。石巻港湾事務所では、地震と津波を想定した避難訓練とBCP計画に基づく初動訓練及び情報伝達訓練を実施しました。

### ■徒歩による避難訓練を行いました。

職員14名がフル装備（ヘルメットとライフジャケットを着用し、非常持出袋約5kgを背負い）にて、徒歩により緊急時に利用する津波避難ビルを確認しながら、国道45号（中浦橋）まで汗だくで避難しました（所要時間約15分）。



### ■BCP計画に基づく初動訓練及び情報伝達訓練を実施しました。

震度6弱の地震発生後、津波注意報が発令されたとの想定で、大規模災害発生後の連絡体制やパトロール体制を強化するべく、ロールプレイ（演習）方式により訓練を行いました。



BCPはBusiness Continuity Planの略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。危機発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、仮に中断しても可及的速やかに復旧・再開できるようにあらかじめ策定しておく行動計画のことです。

# 石巻港の貨物量の推移

## ■年間推移比較 平成 26 年まで順調に回復しています。

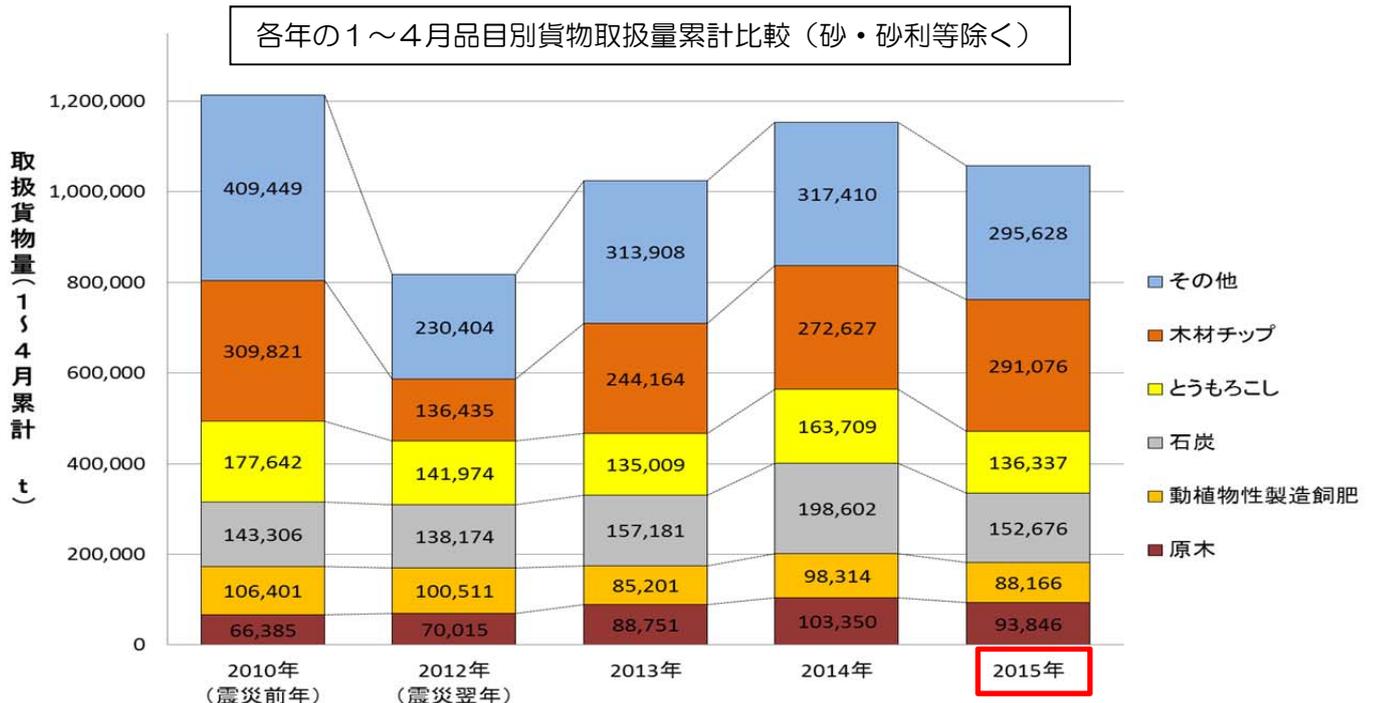
震災後、復興用資材等として砂・砂利等の扱い量が増えたことから、純粋な比較をするために、砂・砂利等を除いたものを右図に示しました。平成 26 年までの年間推移では、震災前には及びませんが、順調な回復傾向にある事がわかります。



## ■今年の木材チップは着実に増加中です。

平成 27 年 1 月から 4 月までの累計について、砂・砂利等を除いて比較した結果、全体として前年よりやや低い推移ですが、木材チップが増加傾向にあります。

木材チップは石巻港での取扱割合が最も多い品目であり、今年は石巻港における貨物取扱量の更なる回復が期待されます。



# 石巻港 工業用地分譲中



■現在3地区4区画にて分譲中です。

□大曲地区

区画	面積(m <sup>2</sup> )	用途地域	備考
M-1	68,676.56	工業専用地域	分譲中

□西浜地区

区画	面積(m <sup>2</sup> )	用途地域	備考
M-2	85,615.53	工業専用地域	分譲中

□雲雀野地区

区画	面積(m <sup>2</sup> )	用途地域	備考
C-1	67,325.63		売却済
C-2	45,615.92		売却済
C-3	114,000.34		申込済
D-1	約 83,000		造成中
D-2	約 73,000		造成中
D-3	約 131,000		造成中
F-1	40,000.14		売却済
F-2	20,000.44		売却済
F-3	44,277.80	工業専用地域	分譲中
F-4	40,000.19	工業専用地域	今回売却
F-5	20,000.21		売却済
F-6	49,822.81		売却済
F-7	41,583.68	工業専用地域	分譲中

宮城県の優遇制度

- みやぎ企業立地奨励金
- 宮城県工業立地促進金融融資制度
- 原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金
- 民間投資促進特区の優遇制度 等

石巻市の優遇制度

- 企業立地助成金
- 上水道料金助成金
- 緑化推進助成金 等

東松島市の優遇制度

- 企業立地促進奨励金
- 工業用地確保補助金
- 環境整備促進補助金

※この他にも優遇制度がありますので、下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

宮城県経済商工観光部 産業立地推進課	TEL 022-211-2732
石巻市産業部産業推進課	TEL 0225-95-1111
東松島市産業部商工観光課	TEL 0225-82-1111

■工業用地を購入した企業（株式会社 山大 様）を紹介します。

この度、雲雀野地区F-4区画を購入頂いた住宅総合メーカー「株式会社 山大」（石巻市潮見町）様は、既存の工場の隣接地4畝を取得し、第2製材工場を新設する計画となっております。

今後の計画は、平成27年8月に工事着工、平成28年4月の操業開始としており、工場の総床面積は2,589㎡、生産能力は、年4万8000㎡総事業費は約17億8800万円の予定となっております。

主な製品は、小径木（直径12～26cm）大径木（38～80cm）の宮城県産材を利用したブランド木材「宮城の伊達な杉」を製造予定です。



## 石巻港 復旧・復興工事(防潮堤)の状況

昨年度着工した石巻港内防潮堤工事は順調に進んでおり、中盤に差し掛かっております。  
 今後も施工現場の安全確保を図りながら、石巻港内の復旧・復興を加速させていきます。

### ■石巻港区平面図



### ■東浜防潮堤 ①

東浜防潮堤はTP+7.2mを計画高としており、現在は土を盛りコンクリートブロックを張る準備をしています。東浜防潮堤1工区の進捗率は68.0%となっており、東浜防潮堤全体としては29.8%の進捗となっております。



震災直後 (H23.3)



(H27.1)



現在 (H27.6)

### ■西浜防潮堤 ②

西浜防潮堤はTP+7.2mを計画高としており、現在は計画の高さまで土を盛っています。西浜防潮堤1工区の進捗率は44.0%となっており、西浜防潮堤全体としては24.8%の進捗となっております。



震災後 (H24.7)



(H26.6)



現在 (H27.6)

### ■日和地区防潮堤 ③

日和地区防潮堤はTP+3.5mを計画高としており、現在は鋼管杭と鋼矢板を基礎としたコンクリート壁の施工と岸壁の施工を同時に行っています。日和1工区の進捗率は67.0%となっており、日和地区防潮堤全体としては37.0%の進捗となっております。



震災直後 (H23.3)



(H27.3)



現在 (H27.6)

### ■大手地区防潮堤 ④

大手地区防潮堤はTP+3.5mを計画高としており、現在は鋼管杭を基礎としたコンクリート壁の施工を行っています。進捗率は24.2%となっております。



着手前 (H26.6)



(H27.3)



現在 (H27.6)

## 地方港の復旧状況

### ■女川湾口防波堤

女川湾口防波堤の復旧は順調に進んでおり、28箇中26箇のケーソン据付が完了しています。現在は上部コンクリートの打設と捨石投入作業を引続き行っており、今年度末に概成します。



震災後 (H25.4)



(H26.6)



現在 (H27.6)  
進捗率は6月末現在

## 港の関連企業も着実に復興中

### ■雲雀野地区に新たな企業が進出します。

日本製紙株式会社は、今年5月三菱商事株式会社と共同で石炭、バイオマス火力発電設備建設・運営会社「日本製紙石巻エネルギーセンター株式会社」を設立しました。

事業開始は平成30年3月の予定で、現在は事業の詳細計画検討の真っ最中とのことです。発電した電力はPPS（特定規模電気事業者）に販売する予定で、発電施設の設置場所は雲雀野地区となっており、エネルギー関連企業初の進出となります。

石巻港を立地場所とした理由として同社は、石炭及び木質バイオマス燃料の調達に優位なほか、日本製紙既設工場の人材やインフラを有効活用できるとのことです。

また、電力の安定供給に貢献すると共に、近隣の林業振興、地域社会の発展に寄与していきたいとのことです。

石巻港に新たな活気あふれる企業がやってくるようになります。

### ■石巻港の宮城県グリーン製品製造会社を紹介します。

コンクリート型枠用合板は従来、輸入木材であるラワン材等が利用されてきましたが、日本合板工業組合連合会では、間伐材等国産材を活用した製品を積極的に推進しています。同製品は従来のラワン材による合板と遜色のない強度や耐久性を有し、間伐材などの小径材の有効活用がなされる環境に優しい製品です。

県では、これを「宮城県グリーン製品」に認定し、建設工事の特記仕様書にそれを活用するよう促すこととしています。この型枠用合板を製造販売している代表的な企業がセイホク株式会社並びに西北プライウッド株式会社であり、関連企業を併せた国内シェアは実に55%に及びます。石巻港の防潮堤工事にも当然地元の合板が使用されています。



- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| (1) 事業主体 | 日本製紙石巻エネルギーセンター株式会社   |
| (2) 所在地  | 宮城県石巻市雲雀野地区           |
| (3) 設立時期 | 平成27年5月               |
| (4) 事業内容 | 発電設備の運転・管理および電力の卸供給販売 |
| (5) 出資比率 | 日本製紙 70%、三菱商事 30%     |
| (6) 発電出力 | 発電端 149,000kw         |
| (7) 燃料   | 石炭、木質バイオマス（最大30%）     |
| (8) 発電開始 | 平成30年3月予定             |



### セイホクコート、杉ルトン (コンクリート型枠用合板)

国産材（間伐材、低位利用木材）、森林認証材を利用したコンクリート型枠用合板です。

\*\*\*\*\*

認定業者であるセイホク株式会社・西北プライウッド株式会社はこれ以外にも構造用合板等各種グリーン製品を製造販売しています。

## 支援職員の紹介

石巻港湾事務所では地方自治法に基づき、今年度も秋田県と富山県から計5名の職員の方々を派遣いただいております。

秋田県からの2名は昨年度からの引き続きで、富山県からの3名は4月から勤務いただいております。支援職員の皆さんを含めた港湾事務所、総勢26名にて港湾の復旧・復興に向けて邁進して参ります。



左より牛島さん（富山），呉さん（富山），梅川さん（富山），佐藤さん（秋田），小松さん（秋田）

## 編集後記

今年度第1回目の発行です。

今回から石巻港で活躍する企業の皆さんを紹介して参ります。

官民ともに復興が進んでいることが実感でき、明るい話題の多い年になることを祈念しています。

## 編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話:0225-95-6271(総務班)

同一6272(港政班)

同一6251, 0167(工務班)

FAX:0225-95-6273

E-MAIL:iskown@pref.miyagi.jp

※復興だよりはHPからもご覧いただけます

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>